



## 新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、新機能および変更された機能の要約と参照先を示します。

表 1: Cisco DNA Center リリース 2.1.2 の新機能および機能変更

機能	説明	参照先
システムヘルス	[System Health] ページでは、Cisco DNA Center アプライアンスの物理コンポーネントの正常性をモニタし、発生する可能性がある問題を監視できます。	<a href="#">システムヘルスのモニタリング</a>
システムトポロジ	[System Health] ページのシステムトポロジには、ネットワークに接続された Cisco DNA Center アプライアンスと外部システム（Cisco Connected Mobile Experiences (Cisco CMX) や Cisco ISE など）がグラフィック形式で表示されます。このページから、ネットワーク上の問題があるコンポーネントや注意が必要なコンポーネントをすばやく特定できます。	<a href="#">システムトポロジの表示</a>
ディザスタリカバリ	ディザスタリカバリは、ネットワークのダウンタイムに対する保護策として追加の冗長性レイヤを提供する Cisco DNA Center の高可用性 (HA) に基づいて構築されます。HA では、クラスタノードに障害が発生したときに、運用を接続されたクラスタノードに切り替えることで対処します。ディザスタリカバリでは、クラスタに障害が発生したときに、ネットワーク管理作業を接続されたクラスタに移すことで対処します。	<a href="#">ディザスタリカバリの実装</a>
ロールベースアクセスコントロール	Cisco DNA Center は、ロールベースアクセスコントロール (RBAC) をサポートしています。これにより、SUPER-ADMIN-ROLE 権限を持つユーザは、特定の Cisco DNA Center 機能へのユーザアクセスを許可または制限するカスタムロールを定義できます。	<a href="#">ロールベースアクセスコントロールの設定</a>

機能	説明	参照先
監査ロギング	<p>監査ログは、発生したシステムイベント、発生した場所、開始したユーザを記録します。監査ログを使用すると、監査用の別のログファイルにシステムの設定変更が記録されます。</p> <p>監査ログには、ペイロード情報を含む POST、DELETE、PUT などのノースバウンド操作の詳細と、デバイスにプッシュされた設定などのサウスバウンド操作の詳細が表示されます。</p>	<a href="#">監査ログの表示</a>
スマートライセンスの有効化	スマートライセンスは、ライセンスのステータスとソフトウェアの使用状況を管理して追跡できる、クラウドベースのソフトウェアライセンス管理ソリューションです。	<a href="#">スマートライセンスの有効化</a>
Connection mode	<p>接続モードは、Cisco SSM クラウドにアクセスするためのオプションを提供します。次の接続モードを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 直接</li> <li>• オンプレミス CSSM</li> <li>• スマートプロキシ</li> </ul>	<a href="#">接続モードの設定</a>
システム設定	<p>次のシステム設定が改善されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• シスコアカウントのクレデンシャル</li> <li>• Connection Mode</li> <li>• PnP Connect</li> <li>• スマート アカウント</li> <li>• スマートライセンスの有効化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">シスコのクレデンシャルの設定</a></li> <li>• <a href="#">プラグアンドプレイの登録</a></li> </ul>
テレメトリコレクション	テレメトリ機能でユーザ情報を収集し、Cisco DNA Center アプライアンスのステータスと機能に関する貴重なデータを提供します。	<a href="#">製品使用状況テレメトリの収集について</a>

機能	説明	参照先
デバイスの可制御性の強化	<p>下記のデバイス設定が、ディスカバリ中または実行時にデバイスの可制御性の一部として有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>デバイス検出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [SNMP Credentials]</li> <li>• [NETCONF Credentials]</li> </ul> </li> <li>• <b>インベントリへのデバイスの追加</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco TrustSec (CTS) クレデンシヤル</li> <li>• IPDT の有効化</li> </ul> </li> <li>• <b>デバイスのサイトへの割り当て</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コントローラ証明書</li> <li>• SNMP トラップサーバ定義</li> <li>• Syslog サーバ定義</li> <li>• NetFlow サーバ定義</li> <li>• Wireless Service Assurance (WSA)</li> </ul> </li> </ul>	<a href="#">デバイスの可制御性</a>
スマートアカウントのクレデンシヤル	<p>権限付与とライセンス管理のためにスマート ライセンス アカウントに接続します。</p>	<a href="#">スマートアカウントの設定</a>
ログインメッセージ	<p>すべてのユーザが Cisco DNA Center アプライアンスにログインしたときに表示されるメッセージを設定できます。</p>	<a href="#">ログインメッセージの設定</a>
機械推論ナレッジベース	<p>既存のネットワーク推論ワークフローで新しい更新があるたびに、[AVAILABLE UPDATE] が [Machine Reasoning Knowledge Base] ウィンドウに表示され、新しい更新の詳細が示されます。</p>	<a href="#">機械推論ナレッジベースの更新</a>
IPAM サーバのハートビートモニタリング	<p>IP アドレスマネージャの設定データと統合ステータスを表示します。</p>	<a href="#">システム 360 の使用</a>
コンプライアンスレポートの出力	<p>準拠していないデバイスをすべて表示するレポートを生成してエクスポートできます。</p>	<a href="#">コンプライアンスレポートのエクスポート</a>



- 
- (注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFPのドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。
-